

西中だより

平成28年度 No.11
平成28年 7月15日
須賀川市立西袋中学校
発行責任者 鶴巻 弘士

&&& 県大会陸上競技の結果報告 &&&

○ 7月6日・7日に福島市のとうほう・みんなのスタジアム（県栄あづま陸上競技場）で開催された県陸上競技大会で本校の生徒が活躍しましたので、報告いたします。

- ・男子 800m 3位 名越 敬冬 ・男子3000m 8位 橋本 尚幸
- ・男子砲丸投げ 3位 倉田健太郎 ・女子砲丸投げ 2位 村越 桜佳

以上のうち4位以内に入賞した名越君、倉田君、村越さんの3名は、8月8日から秋田市開催される東北大会へ出場が決まりました。朝は毎日特設駅伝部やサッカー部や特設陸上部の皆さんが、練習に励んでいます。

÷÷÷ 吹奏楽コンクールを視聴して ÷÷÷

○ 7月9日（土）郡山市文化センターで開催された吹奏楽コンクール県南大会に本校の吹奏楽部が出場しました。演奏前に生徒達と廊下で出会い、眼と眼が合った瞬間に「おはようございます」といつもの元気な挨拶で迎えてくれました。私も「焦らず、いつもの演奏をしてください」と言葉を返しました。

○ ホールに入るとお子さんの応援に駆けつけた保護者の方々にお会いしました。私は、安齋先生と清水先生と一緒に応援しました。本校の演奏は佐藤先生の指揮で、柔らかく美しく、そして終盤は力強い演奏でした。演奏会で感じたことは、同じ曲でも指揮者と生徒の織りなす演奏により、それぞれ違った曲に聞こえて来ることが分かりました。そこには、素人の私には分からない曲の解釈や追究した音の違いや表現の仕方の相違があるのだと思います。素晴らしい演奏を拝聴し、なんだかその日は高尚な気持ちになりました。吹奏楽部の皆さん、素晴らしい感動をありがとうございました。！



◆◆◆ 読書の楽しさを求めて（夏休みに向けて）◆◆◆

○ 私が好きな著者の一人に外山滋比古氏がいます。氏の本は非常に面白く、東大生が一番読む本の著者としても有名です。例えば、「日本語の作法」という本では、昨今の国会議員を「始まってもザワザワとおしゃべりをしている。おまけに席につかずウロウロしているものもある」と表現しています。そして「彼らの多くは大学生の頃に講義を黙って聴いていられない学生だった」と説明しています。

○ 中学生の頃読んだ本で今ふと思い起こすのは「ギリシャ神話」です。その中に、アフリカの人々は何か故肌の色が黒いのか、白かったカラスがどうして黒色になったか、などが書かれていたのを覚えています。また、鴨長明（かものちょうめい）の書いた「方丈記（ほうじょうき）」の訳本には、鎌倉時代に発生した大地震による被害の様子が分かりやすく書かれてあります。このような古典に触れるのも夏休みには良い機会ではないでしょうか。（きちんと読まなければならないではなく、興味を持った本を是非読んでみましょう。できなければ、挑戦して観ましょう。）

《 校長のつぶやき 》・・・継続は力なり（実践して体験してみよう）・・・

○ 「吹けなかったクラリネットが吹けるようになった。」「ボールリフティングが、10回、20回とできるようになった。」「解けなかった問題が解けるようになった。」「本が前よりも長い時間読めるようになった。」など、1学期間で上達した事柄はいろいろあると思います。

○ 今まで、先生や友達や先輩達に教えられたり、リードしてもらったりしてできたことが多かったと思います。夏休みは、自分で目標（課題）を設定し、計画を立て、取り組む期間です。例えば「朝は〇時に起きて、部活動へ行き、〇時～〇時まで学習する」という計画に従って、自分で繰り返して行なうことで、習慣化されます。これを続けていけば、やがて大きな力として身に付くものです。

○ 目標や計画は目に付く所に掲示し、毎日声に出して取り組むと、忘れずに行なえるようになります。

